

猪苗代町 通学路交通安全プログラム

～通学路の安全確保に関する取組の方針～

平成28年3月

猪苗代町通学路安全推進会議

1 プログラムの目的

平成24年、全国で登下校中の児童生徒が死傷する事故が相次いで発生したことから、平成24年6月より各小中学校の通学路において関係機関と連携して緊急合同点検を実施し、必要な対策内容についても関係機関で協議してきた。

引き続き通学路の安全確保に向けた取組を行うため、この度、関係機関の連携体制を構築し、「猪苗代町通学路交通安全プログラム」を策定する。

今後は、本プログラムに基づき、関係機関が連携して、児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図っていく。

2 通学路安全推進会議の設置

関係機関の連携を図るため、以下をメンバーとする「通学路安全推進会議」を設置し、通学路の安全確保等に関する協議を定期的に行う。

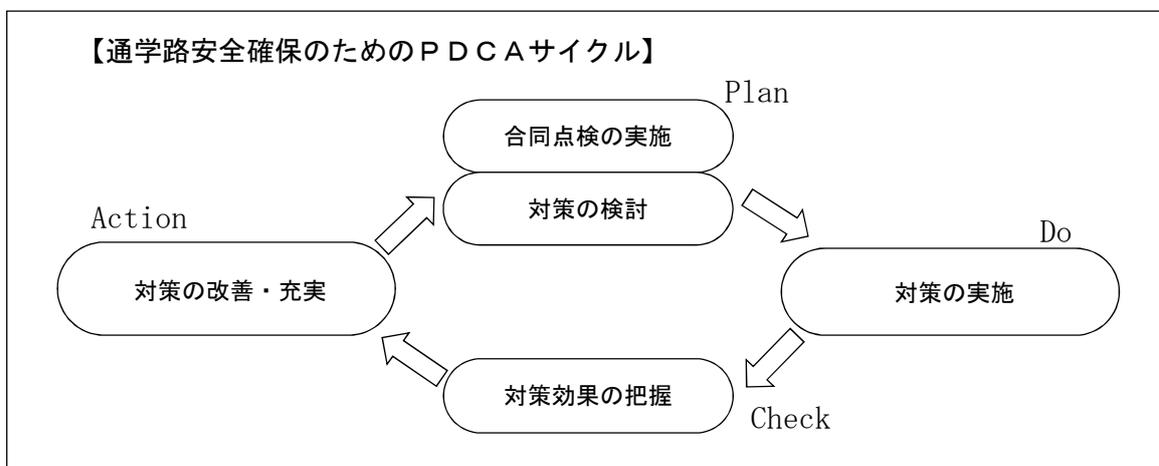
構成機関名	担当課等
国土交通省郡山国道事務所	交通対策課
福島県猪苗代土木事務所	業務課
福島県警察猪苗代警察署	地域交通課
猪苗代町	総務課
猪苗代町	建設課
猪苗代町校長会	会長校
猪苗代町PTA連絡協議会	事務局校
猪苗代町教育委員会	教育総務課

3 取組方針

(1) 基本的な考え方

継続的な通学路の安全を確保するため、定期的に合同点検を継続するとともに、対策実施後の効果把握を行い、対策の改善・充実を行う。

これらの取組をPDCAサイクルとして繰り返し実施し、通学路の安全性の向上を図る。



(2) 定期的な合同点検

- 各小学校は、各校の計画に基づき、PTAとともに校区内の通学路を点検し、危険または注意を要する箇所を把握したのち、猪苗代町教育委員会教育総務課（以下、事務局）に報告する。
- 事務局は、各校からの報告内容を精査の上、猪苗代町通学路安全推進会議（以下、推進会議）を開催し、必要箇所の合同点検を実施する。
- 原則、町内の小学校を3つの中学校区に分け、それぞれ3年に1回、推進会議による合同点検を実施する。
- 実施時期は、積雪時の危険箇所の把握が必要であることから、必要に応じて夏期、もしくは冬期に行う。

(3) 対策の検討

- 合同点検の結果から明らかになった対策必要箇所について、箇所ごとに歩道整備や防護柵設置などのハード対策や交通規制や交通安全教育などのソフト対策などの具体的な実施策を検討する。

(4) 対策の実施

- 対策の実施にあたっては、対策が円滑に進むよう関係者間で連携する。
- 対策の進捗状況等について、定期的に推進会議を開催し、確認を行う。
- 各小中学校は対策等の実施の有無にかかわらず、児童生徒への注意喚起および適切な指導を行う。

(5) 対策効果の把握

- 合同点検結果に基づく対策実施後の箇所等について、実際に期待した効果が上がっているのか、また児童生徒が安全になったと感じているのか等を確認するため、児童生徒の登下校の状況把握や聞き取り調査等を実施し、対策実施後の効果を把握する。

(6) 対策の改善・充実

- 対策実施後も、合同点検や効果把握の結果を踏まえて、対策内容の改善・充実を図る。

(7) その他

- 事務局は、合同点検計画を作成し、構成機関に通知する。
- 事務局は、合同点検の結果等の情報を取りまとめ、町内の小中学校に提供する。

4 箇所図、箇所一覧表の公表

- 小学校ごとの点検結果や対策内容については、関係者間で認識を共有するために、小学校ごとの「対策一覧表」や「対策箇所図」等を作成し、公表する。